



リニューアル版 ラップニュース

VOL.93

2010.12.1

発行：ラップ東京有限会社
http://www.raptokyo.co.jp/
(無断転載厳禁)

◎ラップ東京では、皆様のご参考になるニュースを抜粋し配信しております。バックナンバーは www.raptokyo.co.jp から

「フリー」

「フリー Free!」

ここ数年、フリー、つまり無料のサービスが増えているのをご存知ですか？ユニークなものでは、おにぎりとお味噌汁、おせんべいとお茶などを無料でお客様に提供。その味を知ってもらい購入につなげる、なんていうものもあります。ちよつと内容は違いますが、「無料でホームページ作ります。」という会社もあるようです。こちらは、どこで利益を上げるのか不思議でならないのですが、タダより高いものはないと言われているので、必ずどこかで費用がかかるのでしょう。

ネット上で無料のサービスを提供している代表例といえば、やはりGOOGLE。アカウントを取得すれば、メールサービス、スケジュール管理、ホームページのアクセス解析まで無料でできます。多くの人利用するネット検索では、精度の高い検索結果を表示することで利用者を伸ばしてきました。GOOGLEは、検索キーワードなどユーザーの利用行動をデータとして蓄積、後発の検索エンジンを引き離しています。さらに最近ではライバルであるYAHOOがGOOGLEの検索技術を採用しました。GOOGLEは検索結果の表示順位を決める手法を公開していませんので、今後も検索順位に関してはいろいろな話が飛び交うと思われます。

このように見ていくと、ネット上ではGOOGLEとの関連性を引き離せなくなってきたように思います。たとえば、GOOGLEでキーワード検索（データとしてGOOGLEに蓄積）→検索結果からA社を閲覧（データに蓄積）→A社のページを何ページか閲覧（A社にGOOGLEのアクセス解析がはいってればその行動もGOOGLEにデータとして蓄積）。こんな具合です。

無料で様々なサービスを提供したことにより、ネット上の利用行動という情報を取得することができるようになったわけですね。

GOOGLEは皆が利用するほど性能が良くなる仕組みになっているとか。「情報を制するものは世界を制す」といいますが、いまやGOOGLEにピタリという言葉ではないでしょうか？

最近のアメリカではSNSと言われる無料コミュニケーションサイトが人気です。世界で5億人が参加し、人と人とのつながりをサポートするというこのサイトが、検索サービスのアクセス数を超えたとのニュースもあります。

日本でも話題にはなっていますが、まだまだ「検索サイト」のシェアが高いのが現状で、「検索順位」や「キーワード連動広告」などに営業費用をかける傾向が強いように思います。

ネットを取り巻く環境は、日々、変わっていきます。ホームページを使った集客活動に加えて、コミュニケーションサイトやツイッターなどに注目してもいいかもしれません。個人的な好き嫌いはありますが、自社が求めるターゲット獲得のためにそのようなサイトをぎゅと、のぞいてみたらどうでしょうか？

これらサービスはなんといっても、無料でスタートできるのでから。

ご案内

■GOOGLE マップ

登録代行いたします。アカウント取得からお手伝いします。お問い合わせください。

■GOOGLEアナリティクス(アクセス解析)

■キーワード広告

アドワーズ広告・オーバーチュア広告

GOOGLEアナリティクス、キーワード広告は、初期設定等のお手伝いをしております。

運用は自社でやりたい！というお客様、当社

までお問い合わせください。
TEL:042-349-3535 までどうぞ！